



2022年8月5日

各 位

会社名 ジャパンベストレスキューシステム株式会社
 代表者名 代表取締役 榊原 暢宏
 (コード:2453 東証プライム・名証プレミア)
 問合せ先 取締役執行役員 若月 光博
 (TEL:052-212-9908)

特別損失の計上及び2022年9月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年9月期第3四半期連結会計期間連結会計期間において、下記の通り特別損失を計上することとなり、2021年11月5日に発表した2022年9月期(通期)の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

2022年10月1日を効力発生日として、当社の連結子会社である株式会社アクトコール及び株式会社TSUNAGU(以下、アクトコール・TSUNAGUという)を吸収合併することに伴い、アクトコール・TSUNAGUのシステムを弊社システムに統合することで、ランニング費用や管理保守工数等を抑制し、来期以降の運営体制を最適化するため、当第3四半期連結会計期間において、アクトコール・TSUNAGUのシステム開発中止に伴う減損損失137百万円を特別損失に計上いたしました。

上記につきましては、本日公表の「2022年9月期第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」に反映しております。

2. 業績予想の修正

2022年9月期通期連結業績予想の修正(2021年10月1日～2022年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2021年11月5日発表)	18,000	1,730	1,900	1,200	35円36銭
今回修正予想(B)	—	1,420	1,180	430	12円74銭
増減額(B-A)	—	△310	△720	△770	—
増減率(%)	—	△17.9%	△37.9%	△64.2%	—
(ご参考)前期実績 (2021年9月期通期)	13,460	1,408	1,740	56	1円83銭

3. 修正の理由

2022年9月期(通期)の業績予想につきまして、売上高・営業利益は、主に駆けつけセグメントの集客減少により売上高・営業利益が計画を下回ることを見込んでおります。一方で、保険セグメントにおける被保険者の獲得が想定以上に好調に推移したことで、売上高は計画を上回って推移するものの、成長の急加速に伴って責任準備金の引当が必要となり、第4四半期において責任準備金引当の増加を見込んでおります。

経常利益は、自社株価予約取引に係る時価評価を営業外損益に計上しており、直近の当社株価の動向に応じて第4四半期にも営業外損失の計上を見込んでおります。自社株価予約取引については、2022年6月13日開催の取締役会において解約を決定し、2022年9月期中に全取引の解約完了を予定しているため、解約完了後は当社業績への影響は発生いたしません。

親会社株主に帰属する当期純利益は、経常利益までの損益状況に加え、上記「1. 特別損失の計上」に記載の通り、アクトコール・TSUNAGUとの経営統合を見据え、来期以降に使用しない資産の除却等を進めており、前回予想を下回る見込みです。

<見通しに関する留意事項>

本資料における業績の見通しは、当社が本資料発表時点で入手可能な情報による判断、仮定および確信に基づくものであり、今後の経済情勢や、事業運営における環境変化、あるいは見通しに内在する不確実な要素や潜在的リスク等、さまざまな要因により実際の業績は見通しと大きく異なる結果となり得ることがあります。なお、リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する予測不可能な影響等も含まれます。

以上